

【Ⅱコリント人への手紙 10章】

「戦いの武器は～神のみ前で、
要塞をも破るほどに力のあるものです。」
(Ⅱコリント10:4)

私たちの生活には様々な戦いがあります。私の周りにも、多くの方々が重病にかかり入院され、病との戦いがあるし、生活の戦い、受験、スポーツ、また見えない心の戦いもあります。その中で勝ち抜くことは本当に大変なことです。

「パウロの手紙は重みがあって力強いが、実際に会った場合の彼は弱々しく、その話しぶりは、なっていない。」という人があったように、パウロはごく当たり前の弱い人間であることを認めています。私たちもまた、戦えないほど弱さを教えられ、成すすべがないように思われることがあります。

しかしパウロはの中で、戦いに勝つために人間的な計画や方策を用いることなく、神様の強力な武器を用いると語っています。これはⅡコリント6:7にあるように、義の武器・・・真理の言葉 神の力 と霊の武器・・・またⅠテモテ1:18 には信仰と正しい良心と勇敢に戦うことだと言っています。聖霊の武器とはなんのでしょうか？

「ですから、いついかなる攻撃にも対抗できるように、神様の武具の一つ一つを役立てなさい。そうすれば、すべてが終わった時も、なおしっかり立てるでしょう。

しかし、そのためには、**腰に真理の帯**をしめ、**神の承認という胸当て**をつけなければなりません。次に、**神との平和の知らせを伝えるために直ちに出発できる、丈夫なくつ**をはきなさい。どんな戦いにも、**守りの盾として必要なのは信仰**です。これがあれば、ねらい定めて射かけてくるサタン**の火矢**を、消し止めることができます。また、**救いのかぶと**をかぶり、**御霊の剣[神のことば]**を手にしなければなりません。

いかなる場合にも**祈り**なさい。どんなことでも、聖霊様の考えにそって神様に求めなさい。必要なものをひたすら願ひ求めなさい。」(エペソ6:13～18 リビングバイブルより)

与えられた霊的な武器は、**敵の要塞をも破るほどに力あるもの**とありますが、敵の要塞を破ることがどんなに大変なことか、、、(アラモの砦やナバロンの要塞etc.)それは神に逆らう高慢な議論と、人々の目から神様を隠している壁を打ち砕き、反抗するものを捕虜として神様に連れ戻し、回心させてキリスト様に従わせることだと言っています。

また、昨年、今年与えられた御言葉には、「感謝と賛美」による勝利が挙げられています。(Ⅱ歴代誌20:14～22) 霊的な武器を用い、主を喜び賛美して主の勝利にあずかってまいりましょう。

Ⅰヨハネ5:4「なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に打ち勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.6.17 No.688

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。



白馬の山へ逃げよう!

♪今ぞ 今ぞ 主の恵みの日は今ぞ♪

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。